

# 1. 調査報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	(※評価機関で記入)
法人名	有限会社 ワオン
事業所名	グループホーム わおん
所在地 (電話番号)	岐阜県羽島市上中町708-1 (電話) 058-398-1140
評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1
訪問調査日	平成19年6月12日

## 【情報提供票より】(19年5月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 12 月 10 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	24人
利用定員数計	18 人
常勤	4 人
非常勤	20 人
常勤換算	7.5

### (2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/>	新築 <input checked="" type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/>
建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,930 円	その他の経費(月額)	19,800 円	
敷金	有( ) 円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	350 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(6月13日現在)

利用者人数	18名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	5 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	7 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.7 歳	最低	72 歳	最高	101 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	まるの内科クリニック
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景ののどかな雰囲気の中に平屋で建っている優しい佇まいのグループホームである。「明るく楽しいわおんの家」という理念が職員全員にしっかり理解されており、利用者の気持を大切にしようとする姿勢が徹底している。ヘルパー会議では日々のケアについての話し合いが行なわれており、ヘルパーの内部研修になっている。利用者の気持を想像しながら「心の声のアンケート」を作成しており、利用者の心に寄り添うケアの実践が行なわれている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年の外部評価を生かし、改善点に取り組んでおり、苦情箱の設置を行ったり職員の研修の充実を図ったりした。研修終了後はレポートだけでなく発表の場を設けて研修の共有をすすめる事を期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、管理者だけでなく職員も含めて行い、改善点を話し合うことを期待したい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、隔月ですでに6回開催されている。市議会議員・民生委員・自治会長・ご家族などの参加で、グループホームでの日常の報告や実践の成果を発表したり意見交流が行なわれている。夏祭りで地域密着をしたらどうかなどへの提言がされ、実現につながった。サービスの質の向上の取り組みにつながっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	職員は、利用者の気持ちを取り戻す努力をしており、また玄関先に苦情箱を置いたり、苦情窓口を明記したり等、ご家族等が意見を言いやすい工夫をしている。介護計画の見直しの際にも訪問の少ないご家族への相談の仕方や報告の仕方を工夫されると良い。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的に近所の店や産直市に買い物に出掛けたり散歩に行ったりしている。文化センターの行事にも参加している。また中学生の受け入れをしたりして交流に努めている。今まで盆踊りで参加していた「円空さん」のお祭りにも今年は出店を出して交流予定である。

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「明るく楽しいわおんの家」という理念には、利用者との対話を重視し、その気持ちに沿ったケアを地域の中でしていきたいという願いが込められている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々管理者は思いを職員に語っており、理念は具体的な形として職員に共有されている。地域の中での利用者の暮らしを支えその幸せの為に共に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常的に買い物や散歩にでかけたり、中学生の受け入れをしたりして交流に努めている。今まで盆踊りで参加していた円空さんのお祭りにも今年は出店を出して交流予定である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価を生かし、改善点に取り組んでおり、苦情箱の設置や職員の内部研修の充実を図った。		自己評価は、管理者だけでなく職員も含めて行い、改善点を話し合うことを期待したい。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、隔月ですでに6回開催されている。市議会議員・民生委員・自治会長・ご家族などの参加で、報告や意見交流が行なわれている。夏祭りへの提言等、サービスの質の向上の取り組みにつながっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とともにグループホームの集まりを開いて今後のあり方を皆で語り合うことを計画中である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的に利用者の写真を満載したわおんの家便りを発行している。また、ビデオなども撮影しご家族に送っている。面会に来られるご家族の方には、健康状況や金銭管理、職員の移動について詳しくお知らせしているが、面会に来られないご家族には体調に変化があったときなど、変化時の報告にとどまっている。	○	面会に来られないご家族に対しても、定期的に介護計画・介護記録・個々の生活の様子わかるものを届ける等の工夫をして欲しい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は、利用者の気持ちを汲み取る努力をしており、また玄関先に苦情箱を置いたり、苦情窓口を明記したり等、ご家族等が意見を言いやすい工夫をしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はあまりないが、異動があった際は利用者のダメージを防ぐため、引継ぎをしっかりと行なっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	身体拘束やレクリエーション等の研修会に参加し、参加した職員のレポートを回覧している。		研修に出た職員が、講師役になって研修会の成果を伝えたり発表したりして、研修の内容を職員全員で共有されることが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流を年5～6回持っている。また、他の地域のグループホームの見学に行き、物の配置換えや利用者への接し方などサービスの向上につながる気付きを得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居したばかりの利用者がホームに馴染めるように、ヘルパーが心を配り、他の利用者との仲介役になるよう努めている。入居前の見学も出来るだけしてもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の昔の話を聞いて学んだり、畑の作り方などを教えてもらったりしている。介護という気持ちだけではなく、人生の先輩に普通に接する気持ちを大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式で様々な角度からアセスメントを行なっている。また利用者の気持ちをいろいろな視点から想像し記録に残し、常に利用者の気持ちに沿うように心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントは十分されており、計画作成時には職員の意見も反映されている。ご家族の訪問時には相談をしている。しかし、介護計画書にはご家族の確認印はない。	○	訪問の少ないご家族に対しても、介護計画作成時と見直し時には、作成された計画を送ったり電話などで説明したりして確認印を頂くことを期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は月1回のヘルパー会議にて検討され、変化に応じた計画の見直しがされている。利用者・ご家族の確認欄がない。	○	介護計画作成にあたり、利用者・ご家族の承認・同意したことのサインが必要であるため、書式の工夫を希望する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同系列のデイサービス・宅老所との交流を図り、顔なじみの職員・入居者によるリハビリ・楽しみごとの支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医はあるが、本人・ご家族が希望されるかかりつけ医を優先し、職員・管理者等が通院介助を行い、必要に応じ往診も受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末ケアを体験し、勉強会や研修に取り組んでいる。		早期より将来について利用者やご家族と話す機会をつくられるよう期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ヘルパー会議において、「職員の言葉かけ」「対応につき気づいたこと」等をお互いに注意しあい、プライバシーに関し検討、改善に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、入居者一人ひとりの体調・気分を配慮しながら希望に添った支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日に入居者の希望を聞きながら献立を立てている。食事は職員と一緒に準備・調理し、食卓にはお花を飾り楽しく食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は利用者に合わせ、入居者が昔懐かしい米糠やユズ湯にし、お肌すべすべになるなど入浴を楽しんでいる。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を利用情報収集をし、入居者一人ひとりの役割・楽しむことを見つけられるよう支援している。気晴らしは遠方へ外出をしたり、お茶会などを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩はほとんど毎日行っている。体調・気分をみながら、時にはドライブも行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていない。夜は夜間外へ出ていこうとする入居者がいるため、ご家族に了解を得て鍵をかけている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災・避難訓練は計画されている。現在地域の人々には働きかけていない。	○	地域の方の協力がとても大切であり、呼びかけをされ一緒に訓練を受けられることを希望する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考え、水分もとりやすいように工夫されている。食事量の記録はあるが、水分摂取量の記載がない。		水分摂取量の把握は大切であり、ぜひ記録をされることを望む。出されば栄養士の指導を受けられることも希望したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	さわやかな自然の風が入り、快い音楽が流れ、食堂にはアジサイの花が飾られている。隣りには長椅子が向かい合って置かれ、和やかにくつろげる家庭的な雰囲気を感じられた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者一人ひとりの部屋は窓が大きく外の景色が美しく落ち着いた感じがうかがえる。それぞれ個性があり写真やお仏壇を置かれている方もあった。		